

小野新町小学校が 社会福祉協議会へ

車椅子を寄贈!!

3月16日、町の福祉に役立ててほしいと小野新町小学校から小野町社会福祉協議会へ車椅子が寄贈されました。

平成16年度当時の6年生が、総合学習の時間にプルタブを車椅子に交換できることを知り、回収活動を開始しました。

卒業後はベルマーク委員会が引き継ぎ、全児童で回収活動に取り組み、昨年9月までに約540キロのプルタブを集めました。

自分達でできる小さなボランティア活動は、学校から町全体へと伝えていきたいとの児童の熱い思いで2台目を目標に現在も回収活動が続けています。

同校ベルマーク委員児童4名と活動を開始した当時の6年生(現在は高校1年生)の2名、担当教諭1名が町長室を訪れ、社会福祉協議会会長である穴戸町長に車椅子を寄贈しました。

回収活動に携わった皆さんに紙上よりお礼申し上げます。



車椅子を寄贈する小野新町小学校児童及び関係者

自衛隊入隊者を激励

3月14日、サンフレッシュ郡山において自衛隊父兄会県中地区連絡協議会主催による入隊者激励会が開催されました。

本年度は、小野町から2名が入隊する予定で、小野町父兄会会長柏原康男さんから激励の言葉と記念品が贈呈されました。

入隊されるお二人のご活躍を期待いたします。

●入隊者(敬称略)

上遠野 あやか(平 館)



柏原 淳也(小戸神)



「小野中学校施設整備検討委員会」開催

3月24日、小野町教育委員会会議室において、第7回目となる小野中学校施設整備検討委員会を開催しました。

委員会の冒頭、穴戸町長と吉田教育長より、これまでの委員会活動に対するお礼や今後の施設整備に向け、引き続き様々なご協力をお願いしました。

今回の委員会は、基本設計に対する意見の取りまとめを行うため、これまで出されていた委員会での要望事項や検討課題であった

●デザインや豪華さよりも、教育施設としての機能性を重視した施設とすること

●教育活動はもとより、生徒達の生活面や安全性への配慮

●将来予想される多様な授業展開や学校活動に対応できるスペースづくり

●学校敷地全体の有効活用などが基本設計案にどのような形で反映されているかについて、設計図や模型を使いながら更に検討しました。

各委員より、改めて具体的な要望や意見も出され、鈴木委員長(小野中学校PTA会長)より「子どもたちの学習環境や生活環境について、十分に配慮しながら事業を進めていただきたい」など、今後の事業実施に向け多くのご意見をいただきました。

これまでの委員会での検討結果も踏まえ、小野中学校改築の最終

的な基本設計をとりまとめることといたしております。

なお、基本設計の内容については、5月号以降の広報おのまちで順次お知らせします。

委員の皆さんには、教育環境向上及び施設整備について、ご協力いただき、紙上よりお礼申し上げます。

◆問い合わせ
教育課施設整備室
7216780



模型を確認しながら検討を行う委員の皆さん